

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2020年度)

専門分野区分	ヒューマンスキル	科目名	ゼミナール I	科目コード	DL001A1
配当期	前期・後期・ <b>通年</b>	授業実施形態	<b>通常</b> ・集中	単位数	<b>2</b> 単位
担当教員名	野田 知哉	履修グループ	1L(DG/DM/DW/MA)	授業方法	講義
実務経験の内容	グラフィックデザイナーとして広告デザイン業界のデザイン制作会社にて10年間、その後フリーランスとして15年の25年間、実務に携わった経験を活かして、グラフィックデザイン業界の知識、企画立案に必要なマーケティングの理論、色彩計画、レイアウトについて実践的に講義する。				
学習一般目標	ゼミナールは、卒業までに学生自身の①学習スタイルを確立、②自己管理能力を高める、③日本語表現力を高める、④専門知識・技術習得における自己管理能力を高めることが目的となる。これによって、社会人としての基礎が確立されたことになる。その中でも、ゼミナール I は高校時代の振り返りを行い、スタディスキルを身につけることが目標となる。また、デザイン分野のクラスとして、目標とするデザイン業界の知識を高めることができる。美術解剖学の概要を修得することができる。				
授業の概要および学習上の助言	専門学校の学生生活を通じて習得すべきことが2つある。1つは生涯学習のための学び方である。もう1つは学んだ内容を卒業後社会的活動に結び付ける方法である。専門学校ではそれぞれの分野を深く学ぶための専門科目が配置されているが、全分野に共通する社会人として身につけておくべき内容を学ぶのがゼミナールである。デザイン分野のクラスとしてデザイン業界に興味を持ち、自分でも積極的に調べるようにしておくこと。				
教科書および参考書	適宜、レジュメ・資料の配布				
履修に必要な予備知識や技能	特になし				
使用機器					
使用ソフト					
学習到達目標	学部DP(番号表記)	学生が達成すべき行動目標			
	3	多様性を理解し他者とのコミュニケーションを図ることができる。			
	4	自分の考えや意見を言葉で表現できる。			
	4	自分の考えや意見を文章で表現できる。			
	5	学習目標と日程計画を立てることができる。			
	3、5	自分の目標とする社会人像を説明することができる。			

達成度評価	評価方法	試験	クイズ 小テスト	レポート	成果発表 (口頭・実技)	作品	ポート フォリオ	その他	合計	
	総合評価割合				20	40		20	20	100
	学 部 D P	1.知識・理解								
		2.思考・判断								
		3.態度				20				20
		4.技能・表現			20	20				40
5.関心・意欲							20	20	40	
評価の要点	評価方法	評価の実施方法と注意点								
	試験									
	クイズ 小テスト									
	レポート	自己分析、文書作成演習 専門職・関連職を含む就職に関する目標及び計画								
	成果発表 (口頭・実技)	ワークシート テーマにもとづいたディスカッションと発表 グループワーク等								
	作品									
	ポートフォリオ	ポートフォリオ完成に向けた計画書								
	その他	出席状況 受講態度 学校行事への参加								

## 授業明細表

回数 日付	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)
第1週 /	<b>【キャンパスライフ①】</b> ・授業オリエンテーション ・ゼミナールの意義説明、学校での過ごし方など ・課外活動のすすめ(各種行事、クラブ活動) ・クラスメイトの事を知る ・自分についての振り返り	講義 グループワーク	自分についての振り返りを書いてくる。
第2週 /	<b>【キャンパスライフ②】</b> ・学力テスト(現在の学力を知るためのテストです)	講義・演習 <b>【個人面談】</b>	
第3週 /	<b>【キャンパスライフ②】</b> ・連絡事項 ・キャリアデザインノート(目標の設定)	講義・演習 <b>【個人面談】</b>	
第4週 /	<b>【キャンパスライフ③】</b> ・連絡事項(今後のスケジュール、行事について) ・目標について ・ポートフォリオについて ・デザイン制作補習(美術解剖学)	講義・演習 <b>【個人面談】</b>	GW 中の生活リズムを乱さないように注意すること。
第5週 /	<b>【キャンパスライフ④】</b> ・連絡事項(今後のスケジュール、行事について) ・検定の取得について ・クラス交流会について ・デザイン制作補習(美術解剖学)	講義・演習 <b>【個人面談】</b>	個別面談の際に自分についての振り返りと目標についての紙を記入し持ってくることを忘れずに。
第6週 /	<b>【業界研究①】</b> ・連絡事項(今後のスケジュール、行事について) ・デザイン・イラスト業界のハナシ～業界について ・学修ポートフォリオ(1年次の目標) ・デザイン制作補習(美術解剖学)	講義・演習 <b>【個人面談】</b>	補習課題が未提出の場合は次回までの宿題
第7週 /	<b>【業界研究②】</b> ・連絡事項(今後のスケジュール、行事について) ・デザイン・イラスト業界のハナシ～仕事について ・デザイン制作補習(美術解剖学)	講義・演習 <b>【個人面談】</b>	補習課題が未提出の場合は次回までの宿題
第8週 /	<b>【キャンパスライフ⑤】</b> ・連絡事項(今後のスケジュール、行事について) ・校外学習行事について ・デザイン制作補習(美術解剖学)	講義・演習 <b>【個人面談】</b>	補習課題が未提出の場合は次回までの宿題
第9週 /	<b>【キャンパスライフ⑥】</b> ・連絡事項(今後のスケジュール、行事について) ・学校生活前期中間チェック ・デザイン制作補習(美術解剖学)	講義・演習 <b>【個人面談】</b>	補習課題が未提出の場合は次回までの宿題
第10週 /	<b>【業界研究③】</b> ・連絡事項(今後のスケジュール、行事について) ・デザイン・イラスト業界のハナシ～キャリアについて ・デザイン制作補習(美術解剖学)	講義・演習 <b>【個人面談】</b>	補習課題が未提出の場合は次回までの宿題

第11週 /	<b>【情報デザイン基礎①】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡事項(今後のスケジュール、行事について)</li> <li>・働くことについて考えてみよう</li> <li>・デザイン制作補習(美術解剖学)</li> </ul>	講義・演習 グループワーク	補習課題が未提出の場合は次回までの宿題
第12週 /	<b>【情報デザイン基礎②】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡事項(今後のスケジュール、行事について)</li> <li>・人に伝える</li> <li>・デザイン制作補習(美術解剖学)</li> </ul>	講義・演習	補習課題が未提出の場合は次回までの宿題
第13週 /	<b>【情報デザイン基礎③】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡事項(今後のスケジュール、行事について)</li> <li>・SNSの心得(ネットワークリテラシー)</li> <li>・SNSについて自分の見解を書いてみよう</li> </ul>	講義・演習	SNSの利用について各自学んだことを注意すること。
第14週 /	<b>【キャンパスライフ⑦】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡事項(今後のスケジュール、行事について)</li> <li>・前期学校生活の振り返り</li> <li>・デザイン制作補習(美術解剖学)</li> </ul>	講義・演習	補習課題が未提出の場合は次回までの宿題
第15週 /	<b>【キャンパスライフ⑧】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡事項(今後のスケジュール、行事について)</li> <li>・夏休みの過ごし方(夏休み中の目標)</li> <li>・補習授業、登校日などについて</li> <li>・キャリアデザインノート (学修ポートフォリオ前期振り返り)</li> <li>・デザイン制作補習(美術解剖学)</li> </ul>	講義・演習	長期休暇中の生活リズムを乱さないように注意すること。